

# 天理軽便鉄道

大正4年(1915)2月7日 開通

天理教信者の旅客輸送を目的として建設された。大正普請と呼ばれた本部神殿・教祖殿の建設に伴い、大阪方面から天理へ向かう人が増えた。当時は大阪湊町から奈良経由で丹波市(天理)駅へ回っていたので、法隆寺から天理へ直行する鉄道として大正4年天理軽便鉄道が蒸気機関車で開通した。唯一のナローゲージ。

一方、大阪電気軌道は大正3年4月上本町---奈良間が開通し、西大寺から南進し橿原神宮に至る畝傍線が大正11年に平端まで開通し12年には橿原神宮まで開通した。実は畝傍線計画段階から、天理軽便鉄道へのダメージが予想されていたため大正10年に大阪電気軌道に事業譲渡された。

これに合わせて天理線と法隆寺線に分離し、平端---天理間が大正11年に電化・標準軌道化され、西大寺・天理間の直行列車が開始する。一方、平端---新法隆寺間は戦況悪化により昭和20年運転中止となった。

## 新法隆寺---(安堵)---額田部---(平端)---二階堂---前栽---天理

安堵駅は大正5年 平端駅は大正11年に開設

【軌道幅】 76.2cm (大正11年 平端・天理間拡幅 143.5cm) 【距離】9.01km

- 大正4年(1915)2月7日 新法隆寺・天理間運輸営業開始
- 大正10年(1921)1月1日 **大軌電車**になる  
(大阪電気軌道に事業譲渡)
- 大正11年4月1日 天理線と法隆寺線と分離  
天理線(平端---天理間 電化・軌同拡幅 143.5cm)
- 昭和16年 **関西急行電鉄**に改称
- 昭和19年 **近畿日本鉄道**に吸収
- 昭和20年2月11日 平端-新法隆寺運転中止
- 昭和27年4月1日 平端-新法隆寺廃止。平端・天理間は近鉄天理線。



明治41年測図大正5年鉄道補入 桜井 1/50000 大日本帝国陸地測量部発行

天理軽便鉄道の  
風景画と写真



新法隆寺駅 法隆寺線のがりか  
昭和3年

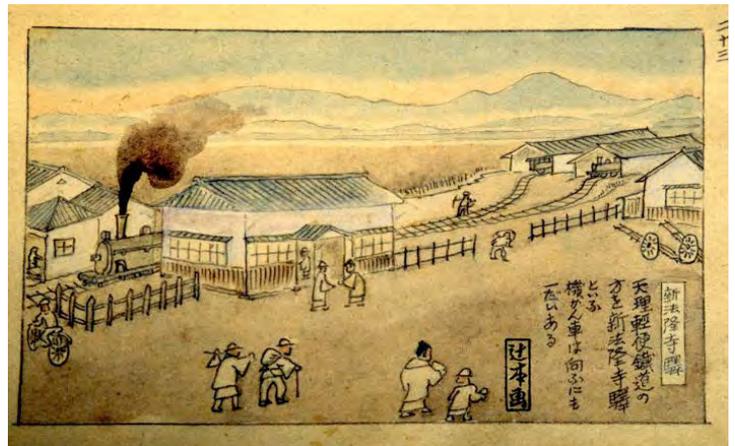
写真①



昭和10年代の安堵駅 写真②



軽便鉄道の着工 富雄川のバラスを川の中まで  
鉄道を引いて運んでいる。大正3年5月 絵①



天理軽便鉄道の新法隆寺駅 絵②



天理軽便鉄道の安堵駅 安堵を発車し額田部へ向か  
うところ。大正4年12月 絵③

絵画提供 絵①②③ 絵 辻本忠夫様 提供 辻本奨之様  
写真提供 写真① 近畿日本鉄道株式会社  
写真② 辻本奨之様

# 天理線軌道拡幅・電化工事（大正 11 年）

法隆寺線・天理線分離（平端駅が開業）



天理線軌間拡幅電化工事

佐保川橋梁 大正 11 年頃 写真③



橿原線・平端駅付近（郡山・平端間延長工事）

大正 11 年 3 月

写真④

近鉄郡山駅 ホーム（橿原神宮行ホーム）の柱に天理線複線工事時の使用済みレールを活用。



天理線電化後、法隆寺線のガソリンカーは平端駅の西側のホームに発着。昭和 20 年法隆寺線運転中止



平端駅に停車中のガソリンカー

撮影日：昭和 15 年（1940）4 月 22 日

写真⑤

鉄道唱歌「天理軽便鉄道編」 奈良県小学校音楽教育研究会発表

安堵小学校4年生の作品 二〇〇四年作品

鉄道が開通した頃

天理軽便鉄道は 2月6日の10時半

汽笛鳴らし煙だし 天理めざして試運転

電車のように美しく ゆれも少なく乗りやすい

安堵の村をつきぬけて 額田部こえて天理まで

天理軽便鉄道は とても乗り心地が良くて

ゆれが少なくけしきよく 人々乗せて走りゆく

客車にのりこみ窓見れば 額田部近くは果樹園で

けしきもよくて有名な お寺や神社もありました

新法隆寺と額田部の 間は長すぎ不便だと

開通してから1年後 ようやくできた安堵駅

鉄道が利用されていた頃

むかしむかしの話です 天理軽便鉄道が

みんなをのせて走り出す がんばれ次の駅までも

客車にのりこみ窓見れば ももなしみかんの畑あり

額田部あたりの丘こえて 次はひらはた駅近く

天理でまつりがあるときは 10両つないで走ってた

運賃前線15銭 果樹園の中走ってた

新法隆寺から天理まで 34分かかります

自転車ぐらいの速さでも けしきはよくて心地よい



客車は10両ありました 駅の名前は安堵駅  
一駅乗れば6銭で ねだんはあんパン3つ分

戦争で鉄道が廃線に

天理軽便鉄道は 戦争でガソリンなくなって

こまってしまったって木炭車 故障つづきでよく止まる

線路ははがされ武器になり レンガをのこして廃止する

二度と安堵は走らない 日本は戦争に敗れたり

今も残る鉄道跡

鉄は戦争に使われて 今はバスが走ってる

二度と安堵は走らない 今もあれば乗りたいな

今はレンガの跡がある 今もあれば乗りたいな

戦争なければケイベンは 本当は今も走ってた

みんなで歩いた鉄道跡 歴史を残すレンガなど

戦争なければあつたはず 安堵の駅やおみやげや

木戸池わたる土の橋 線路はないけど跡がある

田んぼの近くも走ってた ひと目見たい鉄道だ

駅の跡もありました 今は交番あるところ

一度みんなでのりたいな 今はバスが走ってる

むかし軽便鉄道が 安堵の町を走って

戦争なければ今でも みんなといっしょに乗れたのに